



富士市のギネス

ほんま No.1

▷内山義徳さんとユリ



一つの茎から ユリの花が三十

今回は市民の皆さんから連絡をいただいた話題から、おそらくNo.1という話を紹介します。

中比奈の内山義徳さん方の庭にあるユリは、夏の終わりごろ、一本の茎に30個の白い花をつけました。このユリは、5・6年前にトラック運転手をしている内山さんが三重県で手に入れたとのことです。

繁殖力が強く、どんどん大きくなり現在は高さ2m余りになっています。よく手入れをしているわけでもないようですが、数年前家を建てかえるまで植えてあったユリは、50ぐらい花をつけたこともあるそうです。ユリの花言葉は「純潔」、さわやかでしょうね。

交通安全視察団として スウェーデンを訪問



伊奈恵子さん

田子浦中三年の伊奈恵子さんは、全国中・高生交通安全作文コンクールで特選となり、八月十八日から十日間、交通安全視察団としてスウェーデンを訪れました。スウェーデンでは、警察署や自動車工場などを見学し、国をあげて交通安全に取り組んでいる様子をつぶさに見てきました。伊奈さんは「道路にわざとでこぼこをつけ、スピードが出ないようにしてあるんですよ」と人間優先の社会を肌で実感し、その感想を再び文にしています。



敬老会で披露する前に練習中の皆さん(9月15日、大淵中で)

富士本音頭ができる 富士本よいとこ花の里

大淵の富士本地区に富士本音頭ができました。月春はかすみの山ざくら：富士本よいとこ花の里と富士本の豊かな自然を明るく照らすのメロディーで歌っています。作詞は、かつて大淵二小の先生で現在駒沢大学教授となっている清水祐次さん、作曲は石坂の加藤徳雄さんの尽力によるものです。富士まつりのときに完成したばかりで、体育祭や敬老会などで順次披露されていますが、「郷土愛が高まる」と大変好評です。

彫刻のグループが発足 文化の向上をめざす



和田光太郎さん

彫刻をみずからつくり、楽しむ「富士彫刻グループ」ができました。和田光太郎さん(厚原東)は、その代表者。グループは、教育委員会の主催で開かれた「彫刻教室」の受講生のOBが中心となり発足したばかりです。メンバーは今のところ十四人。毎月第一・三木に博物館の工芸室で定例会を開いています。和田さんは、「将来は共同作品を街頭に展示し、富士の文化を高めるようなことができれば」と抱負を語ってくれました。



日本一速いリレーチーム 富士陸上教室の皆さん

八月二十六日、東京・国立競技場で行われた全国少年少女リレーで、富士陸上教室チームが優勝しました。今回は、意気盛り上がるこのメンバーの練習場におじゃましました。

優勝したのは男子四百メートルリレー。メンバーは、東小の高橋雄一君・元吉原小の金田純太君・伝法小の佐野将宏君と渡辺孝光君の四人で、いずれも六年生です。

富士陸上教室チームは、参加した全国四十七都道府県代表チームの中で最高の記録で大会に臨みましたが、レースは接戦。決勝に残った時点では、通過タイムが三位で、関係者を冷や冷やさせました。

でも子供たちはチームを組んでから負け知らず。プレッシャーなどど吹く風でスタート地点につきました。レースは、リレーの勝敗の分かれ目となるバトンタッチを申し分のない状態で切り抜け、見事優勝しました。四人は「優勝できて本当にうれしい。僕たちはリレーになると速くなるみたいだな」と事もなげに話します。

次の目標は十一月の日カーニバルでの優勝と、



▷右から高橋君、金田君、佐野君、渡辺君、菅沢先生

五十秒の壁を破ること。勢いを感じさせる彼らは、なし遂げてしまいです。なお、富士陸上教室は、昨年の四月、陸上の底辺拡大をねらいに一般公募で発足したばかりです。練習は毎週土曜日の午後で、現在は総合運動公園運動広場を会場に約三十人の小学生が練習に励んでいます。